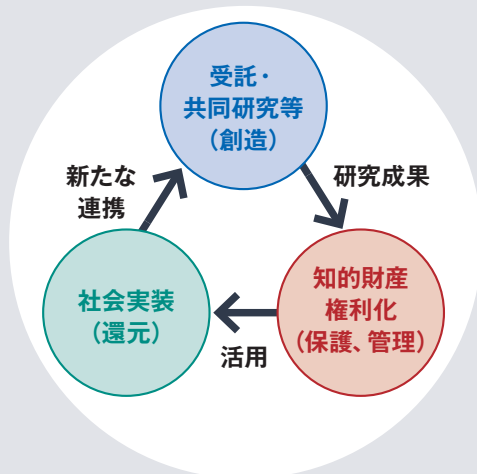


# 産官学連携に伴うリスクマネジメント

## 知的財産管理

知的財産の取得・育成・管理・活用は大学の社会貢献の一つであり、基本的な役割です。中京大学では「中京大学知的財産ポリシー」を定め、産官学等の連携活動から得られた成果を新たな研究の源泉とした知的創造サイクルを円滑に機能させ、グローバルな視点で知的財産を効果的に創出、保護、管理及び活用するための基本的な考え方を示し、知的財産の創出と活用を積極的に推進するという方針を打ち出しています。



## 利益相反マネジメント

社会との連携・共存を図りながら社会貢献を果たしていくことは、教育・研究とならぶ大学の使命です。大学の研究者が産官学連携活動を行う上で、連携相手先との間に経済的な利益関係が発生することも少なくありません。大学における利益相反とは、研究活動において連携相手先との関係で有する利益や責務と、大学における責任や義務（教育・研究）とが衝突する状況が生じている（ように見える）状況をいい、以下の3つが含まれます。

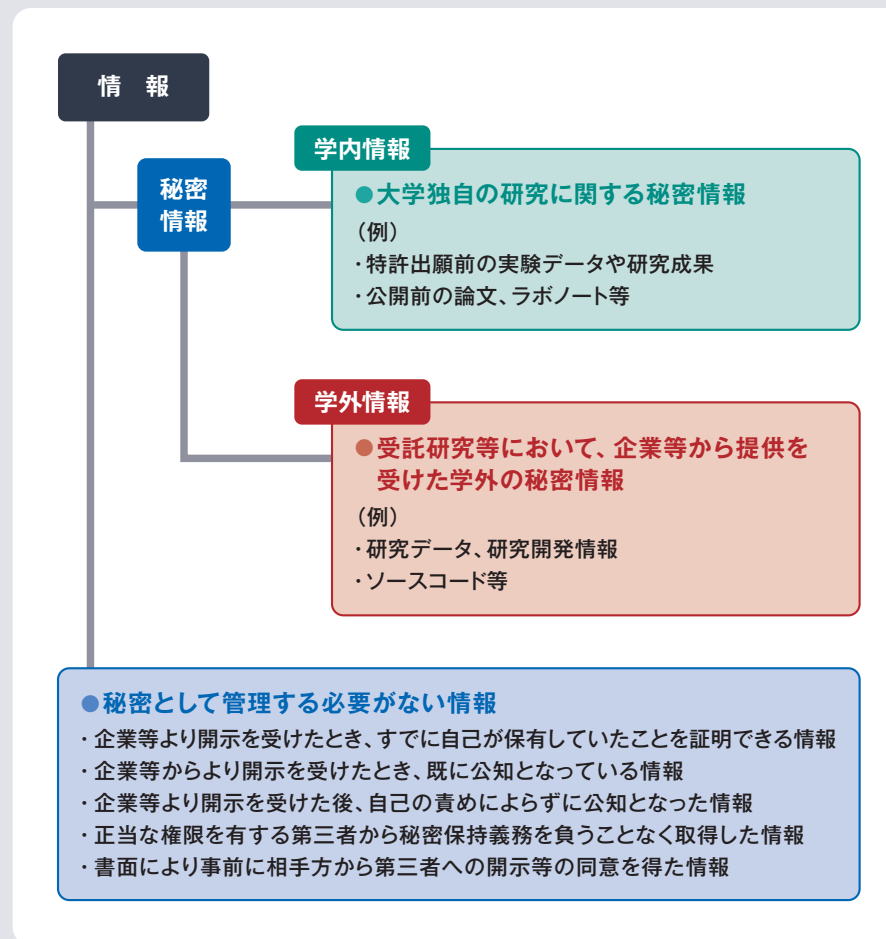
- ① **個人としての利益相反**：個人が得る利益⇔大学における責任（教育・研究）
- ② **大学としての利益相反**：大学組織が得る利益⇔大学の社会的責任
- ③ **責務相反**：個人の対外的職務遂行責任⇔大学における職務遂行責任

中京大学に所属する研究者が利益相反の問題に適切に対処して、業務を公正かつ効率的に実行できる環境を整備することにより、産官学等の連携を含む社会貢献を積極的に推進し、社会からの信頼を保持することを目的として、本学では利益相反マネジメントを実施しています。



## 秘密情報管理

大学は、研究者が自ら創出した研究成果のみならず、産官学連携活動を通じて連携相手先から提供を受けた研究情報等を保有しています。秘密として保持すべきもの（秘密情報）については、一度でも漏えいすればその情報の資産としての価値は失われ、回復は困難となります。



中京大学では、共同研究等において、連携相手先が安心して知見を提供でき、研究者がベストな成果を出せるよう、規程を定め、秘密情報管理を行っています。規程や契約書で、研究者が実施すべき内容を明記し、研究開始前から研究実施後まで、秘密情報を適切に取扱い、情報の漏えいなどが無いよう努めています。